

第27回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会ご案内

多文化共生社会に向けて、学校や地域での教育実践を交流しよう

2004年末現在、日本の外国人登録者数は200万人に迫り、15年の間にその数は約2倍へと急増し、その人たちの出身も多様化しています。また、1985年の国籍法の改正や近年の在日コリアンなどの日本籍取得・国際結婚の増加などによって、外国につながりを持つ人々の数も増えています。グローバル化、少子・高齢化が進行する中で、日本は多民族・多文化社会への道を実に歩みはじめています。そして、その動きをサポートする行政やNGOのとりくみも広がりを見せています。

一方、多民族・多文化共生社会の実現には、多くの課題が残されています。教育にかかわる課題に関しては、在日コリアンの子どもの多くが、いまだに通称名(日本名)を名のって生活をしており、北朝鮮バッシングが続く中で、民族学校の子どもたちに対する暴言・暴力事件も起こっています。また、新しく日本にやって来た子どもたちについては、受け入れ体制・日本語学習・学習支援・進路保障などの課題が、山積しています。在日外国人の子どもたちに対する総合的なとりくみが、今強く求められています。

私たち全外教は、1979年の第1回大会以来、在日コリアンの子どもたちへの差別と排外意識を克服し、進路を保障するとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践を進めてきました。その中で、私たちは、歴史を知ること、子どもたちや保護者の思いを知ること、子どもたちをつなげていくことの大切さを学んできました。そして今、全外教大会の在日外国人生徒交流会には、100名をこえる生徒たちが集い、交流を深め、友情や連帯の絆を強めています。

神奈川での全外教大会の開催は、今回で3回目となります。神奈川では1970年代より、NGOを中心とする反差別・人権確立、在日外国人支援のとりくみが、地域での活動を中心に活発に進められてきました。学校や教職員もそのとりくみから多くのもを学び、在日外国人の子どもたちを前にした学校現場での実践に活かしてきました。今回の神奈川大会では、これまでの神奈川の多様なとりくみを振り返りつつ、これからの多文化共生教育についての積極的な提言を行っていきたくと考えています。

2006年4月

〔主催〕 全国在日外国人教育研究協議会

第27回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会現地実行委員会

〔後援〕 (財)朝鮮奨学会、日本華僑華人聯合總會、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、フォーラム平和・人権・環境、日本教職員組合、部落解放同盟中央本部、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、神奈川県人権・同和教育推進協議会、(社)神奈川人権センター、在日本大韓国民団神奈川県地方本部、在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部、(財)神奈川県国際交流協会、(財)横浜市国際交流協会、(財)川崎市国際交流協会、法政大学キャリアデザイン学会 (順不同)

第27回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会現地実行委員会

〒220-8566 横浜市西区藤棚町2-197 高校教育会館 TEL 080-5072-8156 e-mail minami.s@f4.dion.ne.jp

全国在日外国人教育研究協議会

〒604-0867 京都市中京区烏丸丸太町西入る NHKビル3F TEL 075-212-1338
e-mail zencho-1j@infoseek.jp, URL http://members.at.infoseek.co.jp/zencho/

第27回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会 開催要項

テーマ 多文化共生社会に向けて、学校や地域での教育実践を交流しよう
日程

8月19日(土)	フィールドワーク・ワークショップ					
8月20日(日)	11:30	12:30	14:00	17:00	18:00	
	受付		開会行事	地元報告	全国交流会	
8月21日(月)	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	16:30
	受付		分科会	昼食	分科会	閉会行事

会場

全体会 エポックなかはらホール(20日・川崎市中原上小田中6-22-5)

分科会 法政大学第二中・高等学校(21日・川崎市中原区木月大町6-1)

生徒交流会 横浜市野島青少年研修センター(19日~20日・横浜市金沢区野島町24-2)

全国交流会 エポックなかはら大会議室(20日・川崎市中原上小田中6-22-5)

全体会(地元報告) インタビュー、トーク、映像、寸劇、ダンスなどで構成

第一部 なぜ外国人が日本に暮らすのか

植民地支配、難民、就労など日本に暮らす外国人の歴史的・社会的背景はさまざまです。子どもたちの視点から見た外国人の生活背景をたどります。

第二部 外国人の子どもたちが抱える問題を考える

学校や地域社会の中で、外国人の子どもたちはさまざまな問題にぶつかっています。子どもたちが直面している問題を掘り下げていきます。

第三部 多文化共生の学校と社会を求めて

自分につながる歴史や文化を大切にしていきたい。多文化共生を求めて活動する外国人の子どもたち・若者たちの姿を伝えます。

分科会

共通課題 <多文化共生>と<本名(民族名)を呼び名のる>とりくみをすすめよう
<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

レポート 神奈川・大清水中・片瀬中、奈良・御所小、神奈川・ソナの会、奈良・浮孔西小附属幼、兵庫・めぐみ保、神奈川・桜本小

2、本名(民族名)を呼び名のる

本名(民族名)を呼び名のる関係をどうつくったか。
在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。
名前の自己決定をめぐる状況はどうなっているのか。

レポート 神奈川・今泉中、神奈川・山元小、兵庫・伊丹高

3、学校をひらく

自立と連帯の場をどのように保障したか。
地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。
民族クラブ・朝問(文)研・多文化研などがどのように活動しているか。

レポート 大阪・八尾北高、神奈川・信愛塾、滋賀・近江八幡市役所パートナーシップ推進課ワールド・アミーゴ・クラブ実行委

4、差別と排外に抗して

差別事件へのとりくみをどのようにすすめたか。
排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
反差別の教育実践をどのように展開したか。

レポート 三重・多文化共生NPO世界人、神奈川・ひばりが丘高、埼玉・クルド人難民二家族を支援する会、神奈川・神奈川朝鮮中級学校

5、多文化共生をめざして

多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
 新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。
 進路の保障はどのようになされているか。

レポート 東京・大森高(定)、神奈川・横内中・山下小、
 静岡・ムンド デ アレグリア学校、神奈川・潮田中、兵
 庫・NGOベトナム in KOBE、神奈川・いちょう小

6、歴史と文化・世界に学ぶ

日本と韓国・朝鮮、日本と世界の歴史や文化に
 どう学んだか。
 海外研修・修学旅行等でどのようなとりくみをし
 したか。
 子どもたちの世界認識を深めるためにどのよう
 にとりくんだか。

フィールドワーク

コース ヨコハマ=ハギハッキョ参加コース(8時45分・12時30分集合、16時解散予定、定員全日参加30名・午後参加制限なし)

在日コリアンの子どもたちの集いの場であるヨコハマ=ハギハッキョに直接参加し、15年にわたるそ
 のとりくみに学びます。終了後には感想交換などの場も用意されています。

A: 全日参加 JR 鶴見駅 8:45 潮田小学校(朝の集い、部会、全体会) 参加者との感想交換(現地解散)
 B: 午後参加 JR 鶴見駅 12:30 潮田小学校(全体会) 参加者との感想交換(現地解散)

コース 川崎コース(13時集合、16時50分解散予定、定員30名)

川崎南部における戦前・戦後の在日コリアンの歴史・生活をたどりつつ、多様化する外国人が暮らす
 多文化都市・川崎の今を紹介します。徒歩・公共交通機関での移動となります。

JR 川崎駅 川崎南税務署 池上新町・池上町・桜本 川崎市ふれあい館 セメント通り解散

フィールドワークは大会参加を原則とします。

生徒交流会

8月19日(土)14時30分受付(横浜市野島青少年研修センター) 15時交流会開始
 8月20日(日)11時センター出発(バスで全体会会場に移動) 14時交流会終了

レポート 滋賀・守山北中、神奈川・平楽中、神奈川・下瀬谷中

7、未来をひらく

進路をめぐる差別の実態はどのようになっている
 のか。

進路の保障をどうすすめ、子どもたちの未来を
 どうつくるのか。

専門学校・大学等ではどのようなとりくみをし
 ているのか。

レポート 神奈川・鶴見総合高、奈良・郡山南中、大阪・伯太高、神奈川・IAPE

8、全国在日外国人生徒交流会

名前・進路・生き方・学校・友人等、抱えてい
 る問題を出しあおう。

自らをとりまく現状について、明らかにしよう。
 先輩の生き方に学び、未来について語りあおう。

払 込 取 扱 票

00	??	口座番号 (右語にご記入ください)										金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
0	0	9	9	0	3	2	6	8	1	8	3											
加入者名	全外教神奈川大会現地実行委員会										料金			特殊取扱								
通信欄	大会参加票をお送りしますので、楷書で正確に記入してください。																					
	名 前		全国交流会への参加					フィールドワークへの参加														
			参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない									
			参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない									
		参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない					コースに参加する 参加しない										
大会参加費		¥4,500 ×		人		フィールドワーク参加費		¥1,000 ×		人												
全国交流会参加費		¥4,000 ×		人		フィールドワーク参加費		¥1,000 ×		人		送金合計額 ¥ _____										
払込人住所氏名	(郵便番号)										受付局日附印											
										(電話番号)												
裏面の注意事項をお読みください。(郵政事業庁)																						

払込票兼領収証

口座番号	009903										右語にご記入ください										
加入者名	全外教神奈川大会現地実行委員会																				
金額	千	百	十	万	千	百	十	円													
払込人住所氏名											料金	(消費税込み) 受付局日附印									
特殊取扱											円										

各票の
印欄は、払込人において記載してください

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください
 切り取らないで郵便局にお出しください

参加申し込み方法

- ・下記の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、大会資料代等を振り込んでください。
- ・全体会と分科会には、当日受付での参加もできます。
- ・郵便振込での申し込みの締め切りは7月28日（金）です。
- ・フィールドワークの申し込みは、7月28日以前でも、定員になりしだい締め切ります。

大会・フィールドワーク・全国交流会参加の費用について

- ・大会参加（大会資料代等）..... 4,500円
- ・フィールドワーク..... 1,000円
- ・全国交流会..... 4,000円

書籍・資料の販売、展示について

書籍・資料の販売を行いますのでご活用ください。大会本部で認められた場所以外で行うことはできません。

その他

ビラ・署名は大会本部の許可のないものは認められません。広告、チラシは前もって「大会要綱集」に刷り込みますので、問い合わせてください。

宿泊

下記の旅行社へ7月28日（金）までに電話・ファックスで直接申し込んで下さい。1泊朝食付き8000円程度です。JR武蔵新城駅前（JR武蔵中原駅から1つ目、武蔵小杉駅から2つ目）のホテルを確保しています。



(株)日本旅行 神奈川教育旅行支店 小林さん
〒231-0006 横浜市中区南仲通3-35 横浜エクセレントビル6階
TEL: 045-641-2933 FAX: 045-641-2932

この受領証は、郵便局で機械処理した場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号および金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(郵政事業庁)